



草加市の災害の特徴

- 1 草加市はお皿のように水がたまりやすい地形です。浸水してしまうと3日以上水が引かない恐れがあります。
- 2 首都直下地震が発生した場合、草加市は最大で震度6強の地震を観測する可能性があります。



避難所運営とは？

草加市内の各避難所では、災害に備えて町会・自治会の方々を中心に避難所運営委員会が組織されています。災害が起こった際は、避難者同士が協力して、自発的な避難生活を送る必要がありますので、日頃から町会自治会で行われる訓練に積極的に参加しましょう。

【避難所開設の目安】

災害の規模	開設方法
震度6弱以上	自動開設（市災害対策本部の判断を待たずに開設）
震度5強	市災害対策本部の判断により開設
震度5弱	市災害対策本部の判断により開設
水害など	避難情報を発令する場合などに市災害対策本部の判断により開設

防災情報の入手方法

草加市の防災情報は以下の方法で入手できます。ぜひ検索してみましょう！

草加市 防災 情報収集

>> 草加お知らせメール



>> SNS



>> テレビ・ラジオ

● NHK総合 1ch ● AM NHK第1 (594kHz) ● こしがやエフエム (86.8MHz)

● FM NACK5 (79.5MHz)

>> 防災アプリ「防災草加」



ハザードマップを確認しよう！



ハザードマップには、水害や地震が発生したとき、どう対応したらよいかが書かれています。避難所の情報も掲載しているので、自宅近くの避難所を予め確認しておきましょう。

草加市の水害動画をチェック！

YouTubeで草加市の水害に関する動画を公開しています。

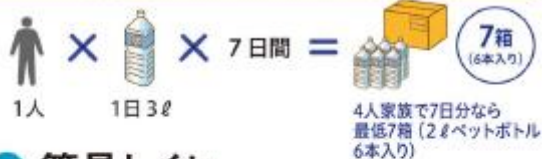
動画はこちらから →



災害時、水道が使えなくなったときのために備蓄・確認しておこう！

●最低3日分、できれば7日分の備蓄

非常用にストックしておく飲料水



●簡易トイレ

トイレ回数は1人1日約5回で想定し、家族7日分以上備蓄しましょう。



災害が発生して水道が使えなくなった場合、浄配水場等の被害状況を確認後、準備ができた応急給水拠点から順次飲み水を配布します。災害の状況により開始まで時間がかかる場合がありますので、日頃から飲料水を備蓄しておいてください。

草加市 応急給水拠点

応急給水拠点は、指定避難所である小学校32か所、水道庁舎1か所及び浄配水場5か所の合計38か所です。

いざというときのために、近くの応急給水拠点を草加市のホームページで確認しておきましょう。

災害時の開設状況についても、市のホームページでお知らせします。